

世界陸上東京 2025 大会における競技エリア救護活動に関する研究のお知らせ

帝京大学医療技術学部では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025年12月9日～2031年3月31日

〔研究課題〕

世界陸上競技選手権東京 2025 大会における競技エリア救護活動の記述疫学的研究

〔研究目的〕

世界陸上競技選手権東京 2025 大会において記録された救護活動の内容を分析し、けがや体調不良の発生状況、救護対応の特徴を明らかにすることで、今後の陸上競技大会における救護体制の改善に役立てる目的とします。

〔研究意義〕

国際大会における競技エリア救護の実態を数量的に明らかにした報告は多くありません。本研究により、救護体制の計画や人員配置の改善に資する科学的知見が得られます。

〔対象・研究方法〕

本研究は、大会運営の救護スタッフが大会中に記録した「救護活動対応記録」を、大会終了後に大会組織委員会が 氏名・BIB 番号を削除して同定できないように加工したデータとして受け取り、統計的に解析する後方視的研究です。研究者は加工データのみを使用し、個人が同定されるような照合（競技映像や公式結果データとの比較）は行いません。なお、選手は大会参加登録時に **World Athletics Accreditation Terms & Conditions**（第 13・14 項）において、個人情報が大会運営目的で利用されることに同意しています。大会組織委員会の判断により、大会時の掲示は不要とされています。

〔研究機関名〕

帝京大学 医療技術学部 スポーツ医療学科

〔個人情報の取り扱い〕

研究者が受領するデータはすべて加工されており、氏名・BIB 番号などの個人識別情報は含まれません。研究データは暗号化 HDD に保存し、施錠管理された部屋で保管します。研究終了後 10 年経過後に完全に削除します。

対象となる方で、ご自身に対する救護活動記録の研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

問い合わせ先

研究責任者：加藤基 講師

所属：医療技術学部スポーツ医療学科

住所：東京都八王子市大塚 359 TEL:042-678-3317